

第48回宮北祭開催！

テーマ：星火進取

10月3日(金)・4日(土)に第48回宮北祭が開催されました。3日は校内発表、4日の午前中が一般公開でした。一般公開は昨年度の入場者数を上回る189名の方に来校いただき、大成功の宮北祭でした。保護者だけでなく多くの地域の方々にも来校いただいていることが特筆できる点です。

今回のテーマは「星火進取」。設定理由は『星火の語源は星火燎原で、進取は校訓。「星火」は星の光のように小さなものでも集まることで大きな光になる。「進取」は新しいことを積極的に取り入れ、困難にも臆することなく、積極的に行動することで一人一人が成長していく』という意味が込められています。まさに小規模校、宮北を象徴するようなテーマになりました。

ステージ発表では、文化部、生徒会活動、総探活動発、有志、ショートムービーコンテスト等、どれも宮北生の努力が詰まっていた見る人を魅了するとともにテーマにふさわしい発表で、生徒の成長が感じられる素晴らしい内容でした。また、スペシャルゲストとして平成15年度に本校を卒業された、歌手の小田代直子様が後輩達のために訪れてくれて歌っていただきました。透明感のある澄んだ声色ながらも非常にパワフルな声量に圧倒されました。小田代様からは、「久しぶりに母校に帰ってきて、後輩の前で歌わせてもらってすごく楽しかった」とのお言葉をいただきました。小田代様、ありがとうございました。

クラス企画の模擬店では、ご来場いただいた方々におもてなしの心と丁寧な態度で接し、楽しんでいただけたと確信しております。各模擬店には赤い羽根共同募金箱を設置し、来場者の善意を募りました。総額8,055円の寄付をいただきました。募金はすべて田老福祉センターへお預けしました。

同窓会の皆様からは今年もサンマの炭火焼きのお振舞があり、宮北祭に花を添えてくださいました。今年はサンマの発育がよく、脂ものっていて大変おいしかったです。同窓会の皆様ありがとうございました。

今年度も一人一人が役割を担い、それぞれの個性を結集し、多くの方々から支えられながら宮北祭を開催することができました。次年度もまた、新たな花を咲かせられるように日々の生活、取組を大切にしていきたいと思います。



令和7年10月30日

10月号

発行：宮古北高等学校



行事が盛りだくさん

今月は掲載した以外にも、バドミントン新人大会、管内事業所見学会(二年)朝のあいさつ運動などたくさん
の行事がありました。来月号で掲載できればと思っています。
また、本校生徒がボランティア等で携わる予定だった、田老地区体育大会は、悪天候のため中止となりました。

第2回避難訓練実施

10月8日(水)に避難訓練を実施しました。今年度2回目となる今回は、避難所設営・運営の訓練を体験しました。本校が宮古市の指定避難所とされていることから、有事の際の準備が必要となります。避難者受け入れスペース作り、発電機の起動、物資の運搬、受付設営等を行いました。また当日は、宮古市危機管理課長の山崎 正幸様を講師に迎え、講評や講演を頂きました。講演の中で「避難所を楽しめるような場所に変えましょう」というお話がありました。次年度は、地域の方々をお誘いし、より実効的な避難所設営・運営訓練をする予定です。



宮北の森⑦

10月15日(水)に宮北の森⑦が実施されました。今回は、2年生が7月に実施したジョブシャドウイングの報告を行いました。ジョブシャドウイングとは、地域で働く方々に影のように張り付いて同行し、その仕事内容を見学・学習する探究活動です。事前学習と現場で体験してきた内容を、スライドにまとめて報告しました。堂々と発表する姿が見受けられました。2年生は自身の職業観を醸成するよい機会となったようです。どの学年もですが、回を重ねるごとにアウトプットが上達してきています。これからも期待したいものです。



【編集後記】

一気に気温が低くなり、冬の気配を感じられるようになりました。十月二十一日には、岩手山に初冠雪が見られました。平均より八日、昨年より一日遅いようです。冬の足音と共に警戒しなければならぬのが、インフルエンザを含む感染症です。すでに本県は流行期に入っているようですので、油断できません。予防には手洗い、うがい、マスク着用等ですが、規則正しい生活をして自己免疫力を高めることが一番です。

令和七年十月三十日
文責 宮古北高校副校長

お知らせ

学校ウェブページ、ノートのページへのアクセスがしやすいようQRコードを載せます。ノートのページでは主に行事での様子を写真中心にお伝えしていきます。ぜひアクセスしてください。

ノートのページ



学校ウェブページ

